

# 案件化調査

## ベトナム国ダラット高原におけるICT活用 次世代養液土耕栽培システム案件化調査



### 企業・サイト概要

- 提案企業: 株式会社ルートレック・ネットワークス
- 提案企業所在地: 神奈川県川崎市 多摩区三田2丁目3227
- サイト・C/P機関: 農業農村開発省及びラムドン・ゲアン省人民委員会

### ベトナム国の開発課題

- 農薬や化学肥料の使用量増加に伴う、土壌等の環境悪化及び農産物の安全性低下。
- 未熟な栽培技術による農作物の低生産性及び品質悪化。

### 中小企業の技術・製品

独自アルゴリズムと栽培環境(日射量・土壌水分量)の測定値から作物生育に最適な灌水量及び施肥量を自動制御し、農作物の生産性・品質向上、土壌内環境の改善を図る。

### 調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

「ICT活用次世代養液土耕栽培システムの導入に係る普及・実証事業」  
ICT導入と同時に、その活用に係る栽培マニュアルの作成や農業普及員への技術移転を通じて土壌環境の改善がはかれることで、農産物の生産性が向上するとともに品質が安定化し、農家の所得向上が期待される。

### 日本の中小企業のビジネス展開

- ASEAN諸国では、増加する人口の食糧問題・水の枯渇問題・雇用問題の解決策としてドリップ灌漑を積極的に普及する動きがある。まずはベトナムを成功させることで他国への事業展開を図る。Netafim等の事業提携先と協力して技術普及を速やかに図り、成果を上げることが優先する。
- 日本の施設園芸農家が海外で農業事業を行う際にも海外事業において収集した栽培・環境データを駆使することや販売チャネルを活用することで、日本の農家の収入向上や雇用創出につなげる。